



平成 30 年 2 月 1 日

各 位

会社名 明星電気株式会社
代表者名 代表取締役社長 高田 成人
(コード：6709、東証第二部)
問合せ先 財務部長 羽根木 武
(TEL. 0270-32-1105)

当社の親会社 株式会社 I H I
代表者名 代表取締役社長 満岡 次郎
(コード：7013、東・名証第一部、札・福証)

通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 30 年 2 月 1 日開催の取締役会において、以下のとおり、最近の業績の動向等を踏まえ、昨年 10 月 31 日に開示した平成 30 年 3 月期（平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日）の業績予想を修正することとしましたので、お知らせいたします。

1. 当期の連結業績予想数値の修正（平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日）

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益	1 株当たり 連結当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 7,200	百万円 130	百万円 120	百万円 80	円 銭 0.60
今回修正予想（B）	6,630	20	10	5	0.04
増減額（B－A）	△570	△110	△110	△75	
増減率（％）	△7.9	△84.6	△91.7	△93.8	
（参考）前期連結実績 （平成 29 年 3 月期）	7,458	△247	△245	△394	△2.97

2. 業績予想修正の理由

気象防災、宇宙防衛両方の事業において、一部案件の次年度への期ずれが発生していることに加え、宇宙防衛事業におけるアビオニクス分野での競争激化による受注の伸び悩みの影響などで、売上高が前回予想値を下回る見込みとなりました。期初において、当期売上高の伸長は望めないことから手堅い数値を想定し、利益確保に向けた体制強化とスリムで筋肉質な体質作りによる損益の改善を目指すこととしておりましたが、その想定を超える売上高の減少となってしまいました。

また、売上高の減少による損益の悪化を最小限に抑えるため、更なる効率改善や費用の削減を懸命に実施しておりますが、損益悪化分を取り戻すまでには至らず、営業利益の見込みが前回予想値を下回る見込みとなりました。

こうした状況を踏まえ、平成 29 年 10 月 31 日に公表いたしました平成 30 年 3 月期の連結業績予想を修正いたします

【業績等の予想に関する留意事項】

本資料における業績予想は、発表日時点で入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって業績予想と異なる場合があります。

以 上